



この職にあるのは親孝行のため

私は、横濱中華學院の校長です。父もかつて同じ職にあり、母は今も附属の幼保園（幼稚園）の園長をしています。

父母は、成長の節目節目で、その時々に対応しい教育をしてくれました。

父が59歳で亡くなる時、私は教師として一年目でした。病床の父に「あとは任せてください。あなたが心配していることはすべて、私が仲間たちとともに解決して、素晴らしい学校を創っていきます」と約束しました。そ

の約束を果たすために、私はいまここにいます。

そしてもうひとつは、同じ職場にいる母に対する恩返しです。ですから、私がこの職にあるのは親孝行のためなのです。

学校でも、家庭そして孝行ということを教育の根本として大切にしています。それで出身者は皆、中華學院を我が家のように戻ってくるところと意識してくれています。そういう繋がりが横濱中華學院の一番の財産だと考えています。（孝道オンライン交流会より）

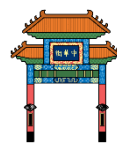
杜文劍 横濱中華學院校長



横浜中華街および中華學院から見える世界

～多文化共生の時代～

杜文劍校長



6月16日(日)、6月度の孝道オンライン交流会を開催しました。横濱中華學院校長の杜文劍先生を講師に招き、「多文化共生の時代」をテーマにお話いただきました。

「日本人になった中国人」としての自らの複雑な人生経験をもとに、国籍、文化、生活習慣を異にする多様な人々が一緒に暮らす共生の時代には、「自分の常識は相手の非常識」であることが多いと知ること、お互い相手に完璧を求めすぎず、70%理解し合えれば大丈夫という姿勢が大切であることなど、たくさんの「共生の知恵」を語って下さいました。



学院校内にて

◆プロフィール◆ 杜文劍

横濱中華學院校長。大学卒業後、富士ソフト株式会社勤務ののち教職の道に。2021年より現職。

誰にどんなことを言われたとしても、自分にしかない個性を輝く方向に変えることができるように、親孝行して頑張りたいと思いました。（学生）

色んな文化に触れて、国とかいろんな違いを越えてどんな人とも理解しあえるような人間になりたいと思いました。（学生）

自分があたり前なことも外国人からしたら全然当たり前じゃなく逆にしんどいことがあることが分かりました。（学生）

大卒後就職してから小学校の先生になろうと思っていたので、大変勇気をもらいました。（学生）

等身大で自らの実体験を語られる杜先生のお話は、世に溢れる様々な教育理論に比べてシンプルで説得力がありました。（学生の親）



株式会社タニサケ 清水勝己社長

会社紹介(ホームページより)

岐阜県揖斐郡池田町にある株式会社タニサケは、「ゴキブリに困っている世界中の人たちを助けたい」という思いから、タマネギの成分で引き寄せて駆除するという、今までにない「ゴキブリだんご」を開発し、1985年創業しました。企業理念は、下記の3つです。

①社員中心主義

社員さんを一番に大切にし、その人生を豊かにする

②忠恕(ちゅうじょ)

他者中心で、何事にもまごころと思いやりをもって対応する姿勢

③先も立ち我も立つ

お客様(先)が喜ぶものを提供していくことが会社(我)の幸せに繋がる

(①があって②③が成り立つ、と考えているとのこと)

親孝行手当と家族感謝手当を支給

今回、当財団がインタビューをお願いした一番のポイントは、この「親孝行手当」と「家族感謝手当」という制度を実施されている会社ということでした。

「親孝行手当」は、親孝行のために使う目的で毎年4月に全社員を対象に1万円が支給されます。一緒に食事をしてもいいし、プレゼントをしてもいいし、ご両親のお墓参りの経費としても良いとのこと。ただし、何に使ったかやその感想を提出することが条件で、良いものがあれば、社報の「フレッシュタニサケ」に掲載されます。5月は「家族感謝手当」が支給され、家族のために1万円を使ってほしい、とのことでした。

それ以外にも、社員とその家族、仕入先、顧客、地域社会の皆さんに対して、たくさんのおもてなしや工夫が凝らしており、さすが「日本で一番大切にしたい会社」大賞審査委員会特別賞を受賞した会社だけある、と驚きました。

主力商品「ゴキブリキャップ」



価格は比較的高額ですが、効き目が抜群、リピーターが多くいらっしゃいます。

その成分は発売当初から100%天然由来で、化学合成や農薬成分の使用はせず、子供や

ペットの誤食などを防ぐため頑丈なケースで覆うなど、安全面でも配慮されています。



実践する姿に社員がついてくる！



もう一つ、大変感動した点は、清水社長(57)が入社して30年間、先代の社長から続く奉仕の実践を率先してやり続けていらっしゃることです。会社は通常8時出勤ですが、社長は6時には出社しトイレ掃除を始め1時

間、会社の清掃をされているとのこと(写真)。

その社長の姿に、特に指示されたわけでもないのにほとんどの社員が出勤時刻前に出社し、自主的に会社を掃除したり整えているとのこと(但し、既婚女性社員は、家庭優先)。その成果で、3年前に完成した新社屋は、館内の隅々まで手入れが行き届き、敷地内も草一本生えていない清々しい職場となっています。

最後に…

Q.社長が30年間、継続して親孝行実践をしてみて、いかがでしたか？

A.もともと面と向かって親に感謝の気持ちを伝えるなんて全然できないタイプでしたので、会社がそういう機会をくれて、良い口実になりました。最後は1年に1回ではなく、毎月1回親孝行実践をするようになり、しっかり両親を送れたと満足しています。

(取材、文章 中部支部・澤木)

ファンは全国に！社報「フレッシュタニサケ」



40名の社員への社報ですが、毎月1500部発行し、日本全国のタニサケファンの要望で有料(実質郵送料程度)で送っています。読者が感想を葉書で送って下さり、それを社内に毎月張り出しているそうです。

暑さに負けず！ 夏休み農業支援

7月27日(日)第4回孝道実践ボランティアは、埼玉県小川町の岡光さんの畑に行ってきました。当財団の李理事長が「種を蒔き、成長し、実となり、収穫するまでを体験してほしい」と言われたこともあり、前回に引き続き、農業支援をしました。参加者が少なかったのですが、炎天下の中、汗まみれになりながら、草取り、種蒔き、じゃがいもの収穫などをした後、近くの玉川温泉で汗を流しました。その日は、小川町の七夕祭りで、美しい七夕飾りを見ることができました。(大野R)



今年の猛暑は、いい間隔で雨が降り作物がよく育っています。実に手際よく、作業してもらえて本当にありがたかったです。畑は時間を掛けて作物が生まれ、眩しい収穫物が出ますので、また皆さんで来てくださいね！
(畑の持ち主 岡光さん)



本当に暑く、虫もいて、大変だったけど、畑の持ち主のおじいさんが、とても喜んでくれて良かったです。(高校生)



普段スーパーで買って食べる野菜も、実は農家さんが種蒔きから始めて、我が子のように丹精を込めて育て、収穫、出荷する過程が学べて良かったです。ジャガイモ掘り、大豆の種蒔き、雑草取りを行いながら、農家さんの苦勞が体験出来て、より一層ありがたみが実感出来ました。(50代男性)

中国の孝子伝『二十四孝』には、三人の孔子の弟子が登場します。中でも孝子として知られるのは、『論語』で曾子と尊称される曾参です。曾参の母への孝心は、「嚮指痛心(げっしつうしん)」の故事成語で知られています。ある時、曾参が山に薪取りに行っている最中、家に急な来客がありました。應對に困った母が、その思いを息子に伝えようと指をかむと、山中の曾参はたちまち心に痛みを生じ、急ぎ家に戻って、



中国
孝子伝

第4回
曾参

(そうしん)

母に代わり客をもてなしたといひます。

また「三人これを疑えば、その母も懼(おそ)る」の故事も良く知られています。ある時、曾参の親類が人を殺したのに、母には「曾参が人を殺した」との誤報告が来ました。息子に全幅の信頼をおく母は、全く取り合いませんでした。同じ報告が二度、三度と来たため、さすがの母も「もしや」と慌てたというエピソードです。

曾参と母との篤い信頼関係が、広く世に知られていたが故に、逆説的にこのようなエピソードが生まれ、今に至るまで語り継がれてきたと言えます。(仁龍)

孝道文化国際大会 in Japan

各支部大会の様子



中高生が司会の関西大会

2024年孝道作文コンクール支部大会の1番目として、7月15日兵庫県加古川市で行いました。

初めての試みは会員の中高生が司会をしたこと。授賞式では、受賞者が祖父の職業に憧れる気持ちを朗読しました。その姿を見守る祖父母の姿は感無量でした。基調講演は李貴史会長から、最近巡回された香港や台湾、韓国での孝道国際大会の様子や活動報告があり、世界的に展開される孝道活動に、参加者と共に感銘を受けました。(関西支部・坂口)

大盛況の九州大会



九州大会は8月18日お盆の最終日にも関わらず、120名(前回大会)超えの満場の聴衆を集め、福岡県久留米市で開催されました。

台湾からの来賓祝辞、識者による講演、現役中学校教諭による総評、武道演武、歌曲独唱など盛り沢山で、特にフィナーレの受賞者6名の作文披露と親子セレモニーは感動の嵐でした。

多くの来場者から御志を頂き、来場された全ての皆さんが人生の孝道功労者だと感じました。来場者に振る舞われたアイスにより笑顔が溢れていました。(九州支部・牧瀬)



孝道文化の祭典、いよいよ開催

第4回孝道文化国際大会 in JAPAN

日時: 12月1日(日) 14時開場 14時30分開演

会場: 渋谷区文化総合センター大和田4階 さくらホール

孝道作文選集第二集 販売中



価格: 1,000円+税

Amazon、書店、当法人HPで購入できます!

お問合せはこちら→



温泉民宿 浜屋 “民宿発祥の地”
伊豆下田温泉 現跡

静岡県下田市須崎海岸1474-6

TEL: 0558-22-3426 FAX: 0558-22-3426 詳しくは→



※予定が変更になる場合がございますので、イベントにご参加の際は事務局または担当にご確認ください。



↑Webサイト

発行元: 一般財団法人 孝道文化財団

発行日: 2024年10月1日

〒150-0043 渋谷区道玄坂2-15-1 ノア道玄坂215

TEL: 03-6433-7416

E-mail: kodobunka@gmail.com